

令和元年度八千代市谷津・里山保全・活用推進会議 会議録

日時	令和2年2月5日(水) 午前10時00分～午後0時00分	場所	市役所別館2階 第1・2会議室
議題	(1) 八千代市谷津・里山保全計画の進捗状況について		
出席者	<p>委員</p> <p>中村 攻 (学識経験者：千葉大学名誉教授)</p> <p>岩瀬 徹 (千葉県生物学会顧問)</p> <p>桑波田 和子 (学識経験者：NPO法人環境パートナーシップちば代表)</p> <p>金親 博榮 (学識経験者：NPO法人ちば里山センター理事長)</p> <p>浅野 正夫 (事業者代表：八千代市農業委員会委員)</p> <p>佐藤 孝之 (活動団体関係者：ヤマトミクリの里づくり協議会会長)</p> <p>吉川 俊男 (土地所有者)</p> <p>栗山 俊雄 (千葉県農林水産部森林課森林政策室長)</p> <p>山崎 保正 (市民委員)</p> <p>八代 英世 (市民委員)</p> <p>幹事</p> <p>コミュニティ推進課長, 商工観光課長, 観光推進室長, 農政課長 環境保全課長, 都市計画課長, まちづくり推進室長, 土木建設課長 農業委員会事務局次長, 指導課長, 文化・スポーツ課長副主幹</p> <p>谷津・里山活用推進会議設置要領第6条第2項により 公共財団法人八千代市環境緑化公社 以上22名</p>		
公開又は 非公開の別	公開		
傍聴者	傍聴1名(定員5名)		
事務局	<p>経済環境部長, 経済環境部次長, 環境政策室長 環境政策室 3名(原谷主査補, 湯川主事, 野島主事)</p>		

高倉室長 定刻となりましたので、令和元年度八千代市谷津・里山保全・活用推進会議を開会いたします。本推進会議は「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」第4条により公開しており、1名の傍聴人がおりますことをご報告します。

なお、本日は長谷川委員、寺前委員が欠席となっておりますので、予めご了承くださいと思います。

また、同要領第8条の規定による会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきますので、ご了承ください。

会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。

～資料確認～

本日お配りしたものは①次第、②名簿と配席図、③里山整備場所位置図、④八千代市谷津・里山保全計画施策の取り組みの実施報告、⑤八千代市谷津・里山保全計画アクションプラン⑥八千代市谷津・里山保全計画アクションプランにおける施策の取り組み状況についてとなります。

全部で6点となります。資料の不足はございませんでしょうか。それでは、お手元の会議次第により、会を進行させていただきます。開会に当たりまして、中村委員長からご挨拶をお願いいたします。

中村委員長

～ 挨拶 ～

高倉室長 ありがとうございます。続きまして、経済環境部長の豊田より挨拶を申し上げます。

豊田部長

～ 挨拶 ～

高倉室長 それではこれからの議事進行を中村委員長に務めていただきます。中村委員長、よろしくお願いいたします。

中村委員長 それでは、まず、推進会議の会議録の作成は、要点筆記方式により作成し、また、委員の氏名につきましては公表ということでよろしいでしょうか。

～異議なし～

中村委員長 異議なしということでございますので、会議録の作成は、要点筆記方式、委員の氏名につきましては公表といたします。また、会議録署名人を出席委員の中から議長が指名し、2名の方をお願いすることとしてよろしいでしょうか。

～異議なし～

中村委員長 異議なしということですので、会議録署名人は、桑波田委員と山崎委員にお願いしたいと

思います。それでは、これより次第に沿って会議を進めます。「八千代市谷津・里山保全計画施策の取組みの実施報告について」と「八千代市谷津・里山保全計画アクションプランにおける施策の取組状況」について、事務局より説明願います。

高倉室長

～第3期アクションプランの全体説明について～

事務局 八千代市谷津・里山保全計画施策の取組みの実施報告と八千代市谷津・里山保全計画アクションプランにおける施策の取組み状況について説明

～実施報告について（スライド）～

～八千代市谷津・里山保全計画アクションプランにおける施策の取組み状況～

中村委員長 ありがとうございます。事務局から説明のあった、「八千代市谷津・里山保全計画施策の取組みの実施報告」と「八千代市谷津・里山保全計画アクションプランにおける施策の取組み状況」について、ご質問、ご意見又は提言などがございましたら、ご発言をお願いいたします。

佐藤委員 ①市内8カ所の里地・里山の1カ所をモデルプランとして選定し、里山の先進例を作るような取組みをしてほしい。  
②森林・山村多面的機能発揮対策交付金が令和3年度で終了する予定になっている。補助金が終了した場合、森林環境譲与税等を適用して里山の保全をおこなうような考えは市は持っているのでしょうか？  
③先日の台風について、50年間森林を放置し、樹木が大きくなった結果、倒木等の被害が拡大したが、今後森林整備をどのように考えているか？

事務局 ①への回答

モデルプランとして整備するためには、地権者の同意が必要となるため、現状では難しい。次期計画を立てる際には、こういったことも含め検討していきたい。

農政課長 ②への回答

令和元年から森林環境譲与税が、人口や人工林の面積等に応じて市町村に交付される。八千代市は54haが人工林でこの部分に森林環境譲与税が交付される。CO2を減少させることが前提で、林業を通じてCO2を固定させることを目的としている税であるため、人工林が少ない八千代市は政策的に森林環境譲与税だけで山林の保全をおこなうことが難しいのが現状。また、同税については、既存の取組みについてではなく、新たな事業に対し交付することが要件となっている。

栗山委員 ②への補足と③への回答

国会審議で使途について公表されており、林業が存在しない場所で里山整備に森林環境譲与税を充てることは難しいと思う。税の使途としては、CO2の固定・吸収、災害防止のための整備等が考えられる。

中村委員長 国の助成制度は現場サイドからすると利用しづらい面があるため、行政の側で利用しやすいようにサポートをしてほしい。台風の問題については長期間かけて整備していく必要があるため、今後の施策に反映してほしい。

金親委員 取組み状況については「〇」が大部分を占めるようになっており、成果が出ていると思います。新しい取り組みとして千葉市では建築や街並みに対して贈られる都市文化賞というものがあるが、今年度から里山活動も受賞対象事業となった。地域文化の啓発の意味もあり、賞があることで、活動へのモチベーションになると思います。

中村委員長 補助金だけでなくお金が掛からないが市民の励みになる制度を検討してみるのも良いと思います。

桑波田委員 報告の中で、子ども環境教室の参加人数が22名となっていますが、これは親も含んだ数字ですか？

平成27年にほたるの里が環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山(全国500カ所)」に選ばれました。その理由は、希少種がいるというより、保全にみんなで取り組んだということが評価されたんだと思います。こういった実績も報告に活用していただければと思います。

事務局 (子ども環境教室の参加人数22名は、親も含んだ数字か?)はい、親も含んだ数字になります。

八代委員 管理番号95・96について

マニュアル作成は現実的に難しいと思う。40年ほど前に自然観察指導員の資格を取得し理科の教員として毎年中学1年生を対象に校庭の雑草等の野外観察をおこなった。40ページほどのマニュアルを作成したことがあったがこのマニュアルを活用した環境教育ができる教員がいないのが現状。

このため、自然観察指導員の講習会に出るなどして、指導員を増やすようなことができればよいと思う。

また、環境教育をおこなう際に航空写真等を活用すると過去と現在でどのように変化したのかが分かりやすい。また、温暖化等の気候変動により外来生物(植物)に関する知識の付与も考えていかなければならない。

中村委員長 自然観察指導員の育成や活用法を市民参加で広く考えていくことや、気候変動による外来種についても考え、次期計画に組込むようにした方が良いのでは？

金親委員 SDGs を次期環境保全計画に取り入れ、よりグローバルな視点で環境問題を考えるようにしてほしい。里山はCO2, 水資源, 教育といったSDGsの項目に該当し、包括的に整備を進められるようになる。他の自治体でも各種計画の見直しをおこない、各種施策とSDGsの関連付けをおこなうようになっている。

佐藤委員 いろいろな方法があると思うが、里山をどう活用していくか？生かしていくか？里山を中心に外から人を呼び込む方法を検討していく必要がある。市民への啓発も必要だが、地権者への啓発も必要。

SDGs と里山との関連付けをいつまでにやるか？前向きで、前例にないようなものを作ればアピールにもなるので、是非進めてほしい。

中村委員長 SDGs との関連付けについては、国の指示を待つのではなく自治体が先に動いて国が自治体の考えを取り入れるような先進的な施策を作してほしい。

自治体にとって都市計画や宅地開発も必要なものであるが、農地も必要なものである。都市計画と農地に関する施策も共存できるように、多面的に評価できるような方法があると良い。谷津里山に関する施策も環境政策室だけでなく、それぞれの関係課で取り込んでいくようにするのが望ましいと思います。

色々ご意見が出ましたが他にご質問や意見はございませんか。

第3期アクションプランについては、事務局の報告から概ね達成できていると評価してよろしいでしょうか？次第では、「その他」とありますが事務局から議題はありますか？

高倉室長

～令和3年度以降の谷津里山保全計画の策定について説明～

中村委員長 来年度を残し10年間のアクションプランが一通り終わりました。先程も申しましたが、私は大略において成功したと思います。

最初の時に何を目指したかということ、谷津里山を通じて、環境保全というものは、一つの課で取り組むものではないということです。全課を挙げて関連する課が集まって会議を推進し、各課で取り組んでいくことに成功しました。今後こういった動きが加速されていくだろうと考えています。

行政だけでなく、市民や企業などと一緒に環境について推進していくことも、当初の目的で、市民と協働し、里山楽校を中心としながら、市民団体も生まれてきました。企業の参加についての課題は残されていますが、行政だけでなく、市民や関係する人と環境行政を進めていくという、八千代市のスタイルができたと思っています。

それを踏まえて、環境政策室から説明のあった次期計画について皆さんの意見がありましたら、お願いします。私からは、谷津里山計画については、生物多様性に組み込むことで生物多様性としてもっと大きく保全していく、そして上位計画に組み込むことがいいのでは

ないかという提案をさせていただきます。

金親委員 なぜ、里山保全計画を生物多様性の一部に組み込むことにしたのか？ そうなった、背景を教えてください。

高倉室長 谷津里山保全計画が策定されてから 10 年が経過し、同計画の運用において庁内連携や各課で谷津里山に関する施策の展開がされてきました。また、市民参加ができたということは大きな成果です。今後は、谷津里山だけでなく生物多様性へと視野を広げるうえでも上位計画に組み込んで運用をしていきたいと考えています。

桑波田委員 谷津里山保全計画は市町村単位で運用していくというのは県内でも珍しく、関係課も計画に携わっており画期的でもある。施策については委員だけでは解決できたものもあれば、そうでないものもあった。これを、今までの延長として考えるのか？ 新たな枠組みにするのか？ といった考えがあるが、谷津里山保全計画の内容を上位である基本計画に組み込むことは良いと思う。また、総合計画にも柱として取り入れたらよいと思う。

佐藤委員 谷津・里山保全計画を上位計画の生物多様性に組み込むことは承知しました。ただし、上位計画に組み込んだ後も施策とその取組み内容についてどのように判定していくのかといったシステムをしっかりと作るようにしてください。

中村委員長 色々な意見がありましたが、今年一年をかけて方針を決めていただけたらと思います。谷津里山から生物多様性に広げるといえるのは、いい面も危惧する面も持っていると思います。生物多様性はとても広く、谷津里山は具体的な問題ですから、非常に概念が広がってしまう可能性について危惧しています。生物多様性のなかの谷津里山として組み込まれるということは、進歩していくという点と同時に他の問題が見えなくなってしまうということも危惧されます。谷津里山ということであれば、教育委員会にも広がっていくなどの可能性があるということです。環境問題を具体的に八千代市で展開していくには、非常に具体的なテーマとしてのいい総括が出てくるわけですから、そういうところを踏まえて広い範囲の中に入れていくよう、問題が増えて具体性がぼやけていくことがないように検討すべきです。

それから、環境保全・谷津里山・生物多様性など大きく今後問題になっていくと思われます。経済的な活動との整合性も重視していき、人間の営みの非常に大事な分野として、経済活動についても生物多様性の分野に組み込んで考えていけたなら、総合的な経済の分野に関する部署にも会議に来てもらう必要があるということになるかもしれません。それも含めてこの委員会をどのように発展、持続していくのかご検討いただきたいと思います。

高倉室長 中村委員長，ありがとうございます。事務局より連絡事項があります。

事務局

～事務連絡～

高倉室長 本日の会議で委員の皆様からいただいた貴重なご意見，ご提案等につきましては，今後の谷津・里山保全計画の推進に参考とさせていただきます。また，取りまとめ方などにつきましては，委員の皆さまのご理解ご協力をいただき進めて参りたいと考えておりますので，委員の皆さまには，改めて，ご助力いただけますようよろしくお願いいたします。

それでは，以上をもちまして，「令和元年度八千代市谷津・里山保全・活用推進会議」を閉会いたします。長時間にわたり，ありがとうございました。